

街路事業

うつのみや えきまえひがしぐち
宇都宮都市計画道路 3・4・302 号駅前東口線
もおかせん もおかいわせ
(主要地方道つくば真岡線及び一般県道真岡岩瀬線)
もおかしたまち
真岡市田町 (平成 24 年 3 月完成)

1 事業概要

宇都宮都市計画道路 3・4・302 号駅前東口線は、真岡鐵道真岡駅東口を起点として真岡市街地を東西に横断し、3・3・2 号真岡二宮線（一般国道 294 号）に至る道路である。周辺には学校や公共施設、住宅が建ち並び、都市の骨格を形成する重要な道路であるとともに、真岡市と茨城県桜川市やつくば市を結ぶ広域的な交通連携を担う幹線道路である。

本事業区間は、幅員狭小で歩道が未整備であることから、自転車・歩行者が危険な状況にあった。また、一級河川五行川に架かる田町橋は、幅員狭小で老朽化が進んだことに加え、桁下余裕高が少なく大雨時には洪水被害の危険性があったことから、一時通行止めを余儀なくされるなど住民の生活に大きな支障をきたしており、都市防災上架け替えが急務となっていた。

このため、栃木県では、「安全で円滑な交通機能の確保」、「都市景観の向上」、「都市防災機能の向上、賑わいの創出」を目的として、平成 15 年度に整備着手し、平成 19 年 9 月に田町橋を開通、平成 24 年 3 月に全線供用した。

【位置図】



【標準横断面図】



事業名：緊急地方道路整備事業（街路事業）
 事業箇所：3・4・302 号駅前東口線 真岡市田町
 事業主体：栃木県
 全体延長：L = 743m
 幅員：W = 16.0 ~ 17.0m
 総事業費：約 25 億円
 事業期間：平成 15 年度 ~ 平成 23 年度

2 事業の目的・必要性

- 安全で円滑な交通機能の確保
- 都市防災機能の向上
- 都市景観の向上、賑わいの創出

3 事業の整備効果等

<費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化>

- ・事業費 着手前 約 27 億円 完成時 約 25 億円
事業費減少の主な理由：地価の下落や補償物件の算定により精査したため。
- ・事業期間 着手前 平成 15 年度～平成 20 年度 完成時 平成 15 年度～平成 23 年度
事業期間延伸の理由：用地取得の難航により不測の期間を要したため。

<安全で円滑な交通機能の確保>

車道幅員の拡幅及び右折レーンの設置により交通量が多い朝夕ともに渋滞は発生せず、快適で円滑な交通機能が確保され、真岡市街地における東西交通機能の強化が図られた。

自歩道の整備により、自転車・歩行者が安全に安心して通行ができるようになった。

<都市防災機能の向上>

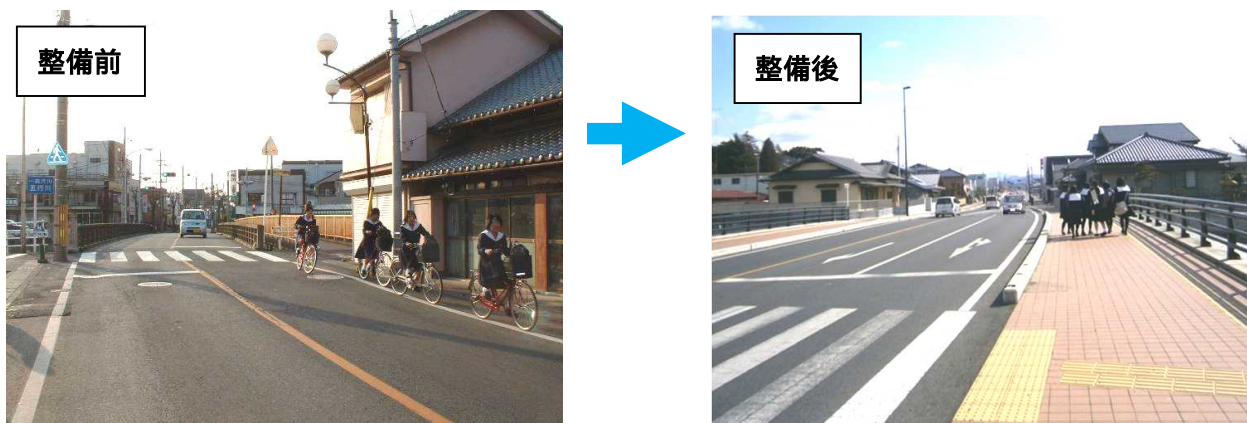
本路線の整備により、緊急時の走行性が向上した。また、河川改修事業との一体的整備による田町橋の架替で桁高を 80cm 程度あげて桁下余裕高を確保したことなどにより、治水安全度が早期に発現した。道路幅員を W=16m 確保したことによる市街地内における火災時の延焼防止や電線類の地中化による都市防災機能の向上に寄与した。



<都市景観の向上、賑わいの創出>

道路拡幅に併せて、電線類の地中化や歩道の美装化を実施したことで、都市景観が向上した。道路照明や歩道のブロック舗装の素材や色調等の選定にあたっては、地元と協議を重ねて決定し、街並みにあった景観を創出した。

また、当該区間では、以前から真岡夏祭りや花火大会で山車、神輿が市内を練り歩いている。道路整備後には、電柱や電線などの支障がなくスムーズに練り歩けるようになり、賑わいが増した。



4 事業による環境変化

特になし

5 事業を巡る社会経済情勢の変化

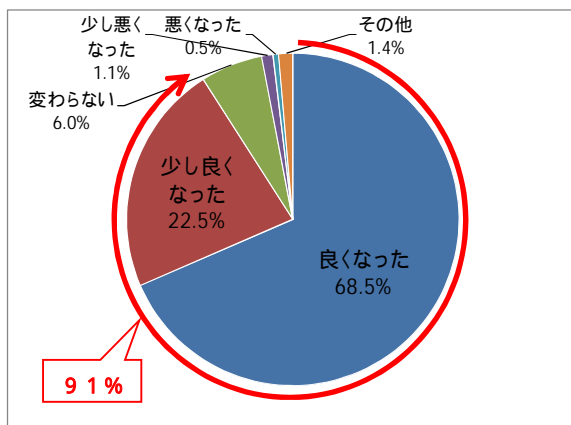
特になし

6 地元の声（アンケート結果）

本事業の整備により、生活や環境等にどのような変化があったのかを確認するために、アンケート調査を実施した。

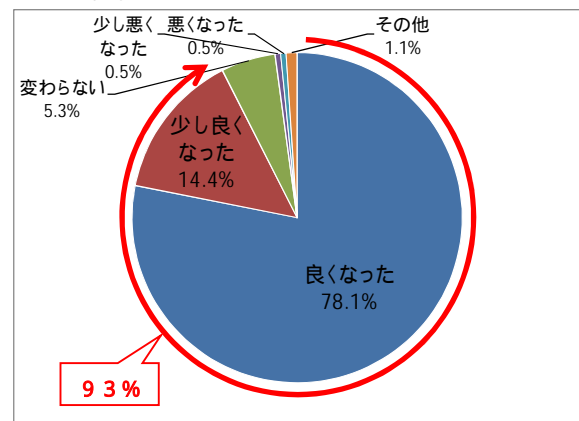
（回答数 / 配布数：386 件 / 672 件 回答率 57%）

(1)自動車通行の快適さ



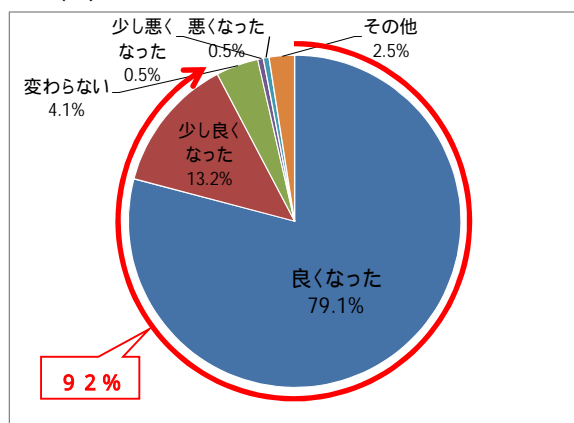
・約9割の方が、整備前と比較して快適に通行できるようになったと感じている。

(2)交通の安全性



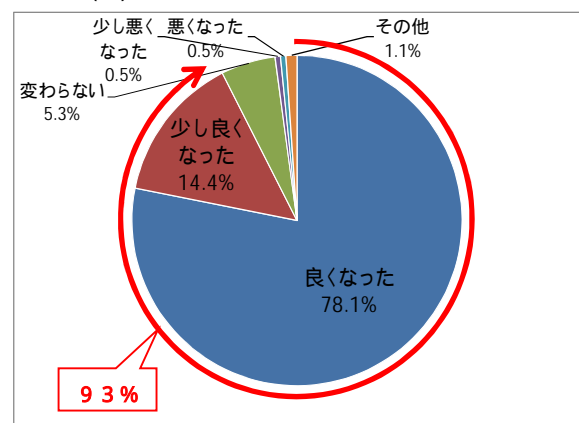
・約9割の方が、交通の安全性が向上したと感じている。

(3)歩道の歩きやすさ、利用しやすさ



・約9割の方が、歩道が利用しやすくなったと感じている。

(4)景観の変化



・約9割の方が、景観がよくなったと感じている。

(5) 自由意見（意見の多かった内容等）

- ・道路整備により安全性が向上した。
- ・電線類の地中化により、景観がよくなった。

7 今後の事業評価の必要性及び改善措置の必要性

本事業により、真岡市街地における東西交通軸の強化や自転車・歩行者が安全に安心して通行できるようになった。また、電線類の地中化等により、都市防災機能の向上や良好な町並み景観の創出に寄与するなど、本事業による効果を確認することができたので、再度事後評価を行う必要性はないものと考えている。

また、今後については継続して適切な維持管理に努めていく。

8 同種事業への反映

本事業については、計画段階から「駅前東口線建設促進協議会」を通して、県・市及び地域住民が一体となって整備を進めてきた。

地元と協議を重ね、橋梁架替え時における協力体制の確保や道路照明や歩道のブロックの素材や色調等の選定を行い、地域に親しまれる景観の創出に努めた。

今後も同種事業の実施にあたっては、地元と連携を図り、魅力あるまちづくりに寄与できる事業を進めていくように努めていく。

栃木県 県土整備部 都市整備課

TEL : 028-623-2475 FAX : 028-623-2477
HP : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h09/index.html>
E-mail : tseibi@pref.tochigi.lg.jp

